

ようこそ鶴見大学歯学部へ

新入生の皆さん、保護者やご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。

歯学部教職員を代表して心からお慶び申し上げます。皆さんは将来、歯科医師になるという高い志を持って入学されたわけですから、新しい時代を切り拓く医療人となるよう皆さんには大きな期待が寄せられています。春爛漫のこの佳き日に、健康長寿に貢献する歯科医療の明るい未来を想像しながら、大きな夢を抱いて欲しいと思います。

さて、入学後すぐに厳しい話となり恐縮ですが、皆さんが歯科医師になるためには、4年生の臨床実習前に受験する来年度より公的化される共用試験と、卒業時には歯科医師国家試験に合格しなければなりません。これらふたつのハードルを跳び越えるためにも、毎日の講義や実習には必ず出席し、疑問や理解できない事項があれば、その日のうちに担当教員に質問するなり、教科書等で調べることが大切です。大学は「学びの場」ですから、ぜひ能動的に勉学に励んでいただきたいと思います。

本学歯学部は1970年に創設されましたが、コロナ禍により順延し、昨年11月20日に50周年記念式典を挙行了しました。本学は創立以来、5,800名近い歯科医師を輩出しており、卒業生は全国各地で毎日の歯科医療に従事しながら、地域の健康増進に大きく貢献されています。「臨床の鶴見」と名を高めている卒業生に続くよう、皆さんも真摯に勉強し、患者さんから信頼される歯科医師を目指して欲しいと思います。

一方、大学生活は勉強ばかりでは不十分です。クラブ活動やボランティアなどの課外活動にもぜひ参加して下さい。課外活動での出会いやたくさんの友人との交流、先輩、後輩の上下関係で得られる経験は大学生活を充実させるとともに、その後の皆さんの一生の宝になるはずです。私自身も大学時代の友人とは今でも定期的に会合し、学生時代に思考を戻して語り合えるかけがえのない財産となっています。また、本学の誇る図書館を利用して、たくさんの読書をしてみてください。何かに迷った時に問題を解決する有益な示唆を与えてくれるはずです。

大学院に入学する皆さんには、大学卒業後に研究者となり真理を探究しようとする姿勢に改めて敬意を表したいと思います。現在の歯科医療は膨大な基礎研究や臨床研究の成果である科学論文をもとに発展してきました。大学院を修了するためには必ず学位論文の発表が求められます。論文執筆は研究者が自己表現する絶好のチャンスであり、著者の名前はその研究領域に永久に残ります。論文作成の機会を与えられたことを素直に喜び、執筆作業を楽しむことこそが、大学院生に与えられた特権でもあるわけです。ぜひ、4年間の集大成ともなる渾身の学位論文を作成され、それぞれの専門分野で高く評価されることを心から期待しております。

未だ終息の兆しの見えないコロナ禍ですので、健康には十分に留意して、特に一人暮らしとなる学生さんは規則正しい生活を心がけて下さい。ここ鶴見の緑濃きキャンパスで皆さんが充実した日々を過ごされることを心よりお祈りして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年4月5日

歯学研究科長・歯学部長 大久保 力廣